

提案した政策の進捗状況について

「車両課の廃止」「小連体・中連体の再開決定」等、議会での指摘・提案が、着実に市政に反映されています。

■車両課が廃止されました！

昨年6月議会において、勤務実態をはじめとする、車両課の多くの問題点について厳しい指摘を行いました(下記参照)。

【車両課の主な問題点】

- 主要業務が「車両の運転」であるにも関わらず、月間の車両運転日数が、僅か10日程度の職員が多数存在する
- 車両を運転した日であっても、走行時間3時間・走行距離10km未満等、走行時間・距離の極端に少ない日が多数を占めている
- 運転以外の業務はきわめて少なく、運転時間以外のほとんどは目的なく待機しているだけ
- こうした勤務実態にも関わらず、車両課職員の月額給与は平均50万円以上と、きわめて高い水準にある

指摘の結果、市は今年4月、車両課を廃止しま

した。私は、これを大きな前進だと受け止めています。しかしながら、**車両運転手の業務内容を見直すことなく、別部署に異動するだけであれば「運転業務以外、ほとんど何もしない」という勤務実態は改善されません。**引き続き、車両運転手の勤務実態を注視し、状況に応じて、必要な指摘を続けてまいります。

■小連体・中連体の再開が決定！

本市の誇る伝統行事である西宮市立小学校連合体育大会(小連体)・西宮市立中学校連合体育大会(中連体)は、2007～2009年の3年間、甲子園球場の改装工事に伴い休止されていました。しかも市は、改装工事が終了する2010年以降についても、日程的な問題などを理由に、再開に消極的な姿勢を示していました。しかしながら、私を含めた議会からの積極的な働きかけもあり、**今年から、小連体・中連体が従来通り、甲子園球場を舞台に再開されることが決定しました。**

■諸事雑感

本年4月1日、市長が辞意を表明しました。高齢問題が囁かれる中、「体力には自信がある」として一昨年の市長選挙に出馬・当選したものの、僅か一年半の間入院・自宅療養を繰り返した後、このような結論にたどり着いたこととなります。市民の一人として、また市議会議員の一員として、こうした一連の経緯に対して、複雑な思いを持たずにはられません。

市長の辞意表明を受けて、市長選挙および市議会議員補欠選挙が実施されることになりました。この市政報告を配布している時期には、結果も明らかになっていることでしょう。しかしながら、誰が市長になろうとも本市行政運営にとっての重要課題が変わることはありません。市議会議員としての職責を全うするべく、今後の行政運営に対しても厳しい姿勢で臨んでまいります。

澁谷 祐介：西宮市議会議員／二期目

- 昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。
- 市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。
- 平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在二期目。
- 好きな言葉：一利を興すは一害を除くに如かず
- 好きな作家：司馬遼太郎
- 尊敬する人物：織田信長

しづや祐介事務所：〒662-0927西宮市久保町1-16-202/e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

>>>more!

”しづや祐介”

<http://y-shibuya.blogzine.jp/blog/>

↑こちら↑で、日々の詳しい活動のご報告や政策を、ご覧いただけます。ぜひ、ご覧下さい。

西宮市議会議員

しづや祐介

市政報告・第21号×2010年5月

私たちが暮らす、
西宮の未来のために。

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒
元阪急電鉄(株)勤務 行動する政治

TOPICS&CONTENTS

～今号の目次&内容～

- ◆2010年度予算のご報告/
きわめて厳しい財政状況
- ◆市立中央病院について/
目的は「医療を守ること」です
- ◆外郭団体について/
あり方の抜本的な見直しを！
- ◆給与制度・事業の効率化/
抜本的改革に取り組むべきです
- ◆市職員の手当について/
厳しい対処が求められます！
- ◆進捗状況のご報告/
着実に、市政に反映されています

2010年度予算について

厳しい財政状況を直視し、
行政経営の抜本的改革を進めるべきです。

■予算の概要

3月議会における審議の結果、2010年度予算が可決・承認されました。予算総額は2757.9億円と、ほぼ例年並みですが、

○市の収入の根幹である市税収入は約810.1億円と、前年度予算比・約29.6億円の大減
○市が比較的自由に用途を決定できる「一般会計」の基金(=貯蓄)を48.7億円取り崩した結果、基金残高は37.9億円まで減少
○今後も歳出が歳入を大幅に上回り続けることは確実であり、2011年度には基金が底をつくと言われる

等、非常に厳しい内容となっています。「歳出が歳入を上回り続け、基金が底をつく」と、市が予算を組まず、行政運営が滞り、市民生活に影響が出ることも予想されます。本市の財政は、きわめて危機的な状況にあるのです。

■抜本的改革の推進を！

市は、厳しい財政状況を直視し、
○各事業の必要性の判断
○不要・不急な事業の見直し
○事業・制度全般の効率化
等、行政経営の抜本的改革を進めるべきです。私は、こうした観点に立ち、様々な指摘・提案を行っています(詳細・中面)。